

平成 27 年度 第 2 回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

● 日時、出席者等

日時	平成 27 年 10 月 7 日（水） 10:00～11:30
会場	岩見沢市役所 3 階 委員会室
出席委員	18 名（うち代理出席 3 名） 欠席 4 名
委員随員	3 名
傍聴者	1 名（傍聴者）、1 名（報道関係者）
事務局	7 名
業務受託者	2 名

● 議事録（要旨）

会議次第	協議内容
委嘱状交付 (1) 開会 (2) 会長あいさつ (3) 新委員紹介 (4) 議事 (1) 地域公共交通網形成計画（案）の全体像について	○事務局から資料 1 に基づき、これまでの「生活交通ビジョン」策定などの取組みの確認と、「岩見沢市地域公共交通網形成計画」の策定に向けた、今後の実証運行や実証実験といった取組みを進めることや、市が既に策定している関連計画との連携の検討を進めて行くことなどについて、説明しました。 委員の方から、質問はありませんでした。
(2) 交通空白地域における新たな公共交通について	○事務局から資料 2 に基づき、交通空白地域における、デマンド型（予約型）の乗合タクシーの実証運行の検討内容について説明しました。 ○7 月に開催された専門部会の検討内容について報告がありました。

会議次第	協議内容
<p>(3) 岩見沢市内バス路線の最終バス時間繰り下げについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地域を何とかする、というところは委員の皆案も問題意識を持たれていること。 ・栗沢地区はどうするのか、という意見に対して、まずは実証運行ということで地域を絞って行いたいこと。 ・実施に当たっては、周知徹底が重要となってくること。 ・運行時間は、病院や買い物等の時間に配慮してほしいこと。 <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、デマンド型で実証運行する提案ですが、コミュニティバスという考えはありませんでしたか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、ニーズがどのくらいかわからないため、まずは乗合タクシーの実証運行を行い、ニーズが多ければ大きな車両を使用するといった検討をしたいと思います。 <p>⇒交通空白地域における新たな公共交通について、(案)のとおりに承認されました。</p> <p>○事務局から資料3に基づき、岩見沢市内のバス路線の最終バス時間の繰り下げの内容について説明しました。</p> <p>※なお、本件は交通事業者と検討中です。</p> <p>○7月に開催された専門部会の検討内容について報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかにして周知徹底を図っていくか検討すること。(例えば、路線沿線に対象を絞って町内会などに周知徹底を図ることも重要) ・バスを使うときにそもそもバスの利用の仕方が分からない、という声があったこと。 ・今後のバスの取組みとして、いかにして利用者に分かりやすく説明するかということ。 <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の維持としていろいろな方法があると思いますが、専門部会で利用促進策などについて議論する際は、交通事業者さ

会議次第	協議内容
<p>(4) 公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出について</p>	<p>んにも出席いただければと思います。</p> <p>⇒岩見沢市内バス路線の最終バス時間繰り下げについて、交通事業者との協議について会長へ一任、詳細については事務局で詰め。協議が整った段階で（案）のとおり進めることで承認されました。</p> <p>○事務局から資料4及び5に基づき、公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出の内容について説明しました。</p> <p>※なお、本件のうちまちなかワンコインバスについては交通事業者と検討中です。</p> <p>○7月に開催された専門部会の検討内容について報告がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、市民と若者（教育大学）と交流を図り、取り組みが出来ればよいと、委員の皆さんにもご賛同いただいたこと。 ・まちなかを回遊するバスがあれば良い、という声があったこと。 <p>委員の方から、次のようなご意見がありました。</p> <p>（委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか交流拠点の創出も重点的な事項と認識していますが、例えば郊外の観光施設への利用が出来るような実証実験も一度やっていただきたいと考えています。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画に向けて、今年度の実証実験としては乗合タクシー、最終バスの繰り下げ、まちなか交流拠点の実証実験を考えており、郊外部の実証実験については、来年度、再編実施計画の策定に向けて検討を進めますが、その中でご意見をいただきながら検討したいと思います。 <p>⇒公共交通と連携したまちなか交流拠点の創出について、まちなかワンコインバスは交通事業者との協議について会長へ一任、詳細については事務局で詰め、協議が整った段階で（案）のとおり進めること。まちなか交流拠点の創出については資料</p>

会議次第	協議内容
<p>(5) 今後のスケジュールについて</p> <p>(5) その他</p> <p>(6) 閉会</p>	<p>(案) のとおり進めることで承認されました。</p> <p>○事務局から資料6に基づき、今後のスケジュールについて説明しました。</p> <p>委員の方から、質問はありませんでした。</p>